

# 交流自治体の名寄市からも参加! ジャズでも交流、阿佐谷ジャズストリート♪

2022年10月21日(金)22日(土)に阿佐谷ジャズストリートが開催されました。昨年はコロナ禍で中止となったジャズストリートでしたが、今年は2年ぶりに開催され50近い会場で演奏が行われ、阿佐谷の街中にジャズの音色が響き渡りました。世界的ジャズピアニストの山下洋輔さんから地域の小中学校の吹奏楽部の子もたちまで多くのミュージシャンが参加しました。交流自治体の北海道名寄市からは、歌手の加藤 MAA さんが出演、暖かみのある歌と演奏で観客を魅了し交流を深めました。ちなみに加藤MAAさんは、名寄市の加藤市長のお兄様です。(広報 T・K)



ジャズで賑わう阿佐谷の街



加藤 MAA さんの演奏風景

## 外国人のための 無料専門家相談会 事前予約制 Free Professional Consultation for Foreign Residents

ビザ・結婚・離婚・仕事・年金・健康保険・税金に関わる問題など、弁護士などの専門家に無料で相談できます。お気軽にご相談ください。通訳あり。秘密厳守。

【日 時】2月18日(土) 13:00~16:00  
 【場 所】杉並区役所 第4会議室(中棟6F)(杉並区阿佐谷南1-15-1)  
 【専門家】弁護士・行政書士・税理士・社会保険労務士など  
 【通 訳】英語・中国語・韓国語・ネパール語ほか  
 【申込み】2月3日(金)までに電話またはメールで予約。  
 【その他】託児あり(2月3日(金)までに電話またはメールで予約)  
 【問合せ・予約】一般財団法人 杉並区交流協会  
 Tel: 03-5378-8833  
 E-mail: info@suginami-kouryu.org

- ★よやくがひつようです。
- ★ひみつをまもります。
- ★つうやくがいます。
- ★ほいくがあります。



## Event Information from SACE 交流イベント情報

開催時期	イベント名	イベント内容	開催時間	場所
1月	1/16(月)	南伊豆町の特産品販売	10:00~14:00	杉並区役所中杉通り入口前 コミュかるショップ前
	1/16(月)~20(金)	南伊豆町観光物産展	開庁時間 ※初日10:00から ※最終日16:30まで	杉並区役所1階ロビー(16日のみ) 杉並区役所2階区民ギャラリー(全面)
2月	1/22(日)	おぢやフェア	11:00~13:30	小千谷学生寮
	2/26(日)	おぢやフェア	11:00~13:30	小千谷学生寮
3月	3/19(日)	おぢやフェア	11:00~13:30	小千谷学生寮
	3/20(月)~31(金)	名寄市写真展	8:30~17:00	杉並区役所2階区民ギャラリー(全面)

※物産販売はいずれも雨天実施。売り切れ次第終了となります。マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。新型コロナウイルス感染症の状況により、中止となる場合がございますので、ご注意ください。 問合せ:杉並区役所文化・交流課交流推進担当 ☎03-3312-2111(代表)

## 交流協会の会員になりませんか? 杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

年会費	会員特典	申込方法
・個人会員 1,000円/年 (9月以降入会の場合は初年度に限り500円) ・法人会員 20,000円/年 会員期間 入会の月から3月31日まで(当年度末)	① イベントの情報や交流に関する情報紙「交流ニュース・NEWS LETTERなど」をお届けします。 ② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。 ③ イベント参加費に会員割引があります。	入会希望の方は杉並区交流協会まで申込書類をご請求ください。

# すぎなみ交流ニュース

Suginami Cultural Exchange News

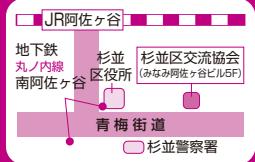
第67号  
2023年1月

스기나미 교류 소식  
杉並的交流消息

発行:一般財団法人 杉並区交流協会  
 [Suginami Association for Cultural Exchange(SACE)]  
 〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階  
 [Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]  
 TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail: info@suginami-kouryu.org

<https://suginami-kouryu.org/>

◆年4回発行◆ 協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。



HP・Facebook 随時更新!!



### 目次

子ども日本語学習支援ボランティア養成講座開催報告 ほか ..... 2

海外文化セミナーウクライナ in すぎなみフェスタ開催報告 ..... 3

杉並区交流自治体の情報 ほか ..... 4

## 第20回 日本語スピーチ大会 発表者募集

**発表者募集** 日本に住んで体験したこと、驚いたこと、自分の国とは違うことなどを学んだ日本語を使って発表してくれる外国人の方を募集します。

日 時: 3月4日(土) 午後13:30~17:00  
 場 所: 杉並区役所 中棟6F 第4会議室(杉並区阿佐谷南1-15-1)  
 JR総武線「阿佐ヶ谷駅」徒歩7分 東京メトロ丸ノ内線「南阿佐ヶ谷駅」徒歩1分  
 テーマ: 日本に来て感じたこと、自分の国のことなど  
 賞 品: 優秀賞などの他、参加者全員に記念品  
 締 切: 1月20日(金) (応募者多数の場合は選考し、1月末までに連絡いたします。)  
 発表時間: 5分程度  
 発表者募集人数: 10名程度(15歳以上の方)  
 申込方法: 申込書(協会HPに掲載)を郵送、またはメールなどでお申し込みください。

### 観覧者募集

要申込 入場無料

日本で暮らしている外国の方のお話を聞いてみませんか? 外国の方が感じたこと、体験したこと、出身国のことなどについて発表します。

申込方法: (定員になり次第締め切り) 氏名(ふりがな)、住所、電話番号、メールアドレスを記入して、メールで杉並区交流協会まで。



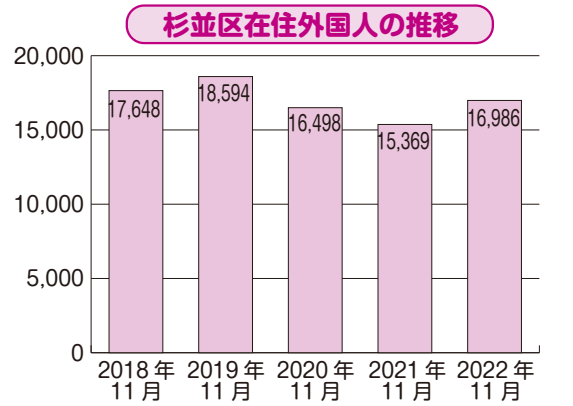
昨年の様子



昨年の最優秀賞スーさん(ミャンマー)

## 杉並区在住外国人の状況

杉並区の国別在住外国人人数(上位10か国・地域)



2018年11月		2022年11月	
総数	17,648人	総数	16,986人
① 中国	5,834	① 中国	5,633
② 韓国又は朝鮮	2,972	② 韓国又は朝鮮	2,376
③ ネパール	2,190	③ ネパール	2,064
④ ベトナム	1,474	④ ベトナム	1,258
⑤ 台湾	1,007	⑤ 米国	888
⑥ 米国	743	⑥ 台湾	801
⑦ フィリピン	531	⑦ フィリピン	502
⑧ 英国	298	⑧ ミャンマー	299
⑨ フランス	265	⑨ 英国	298
⑩ タイ	235	⑩ フランス	279

# 子ども日本語学習支援ボランティア養成講座

1月から杉並区在住の外国等の子どもを対象に『子ども日本語教室』が開始されます。それに合わせ、子どもたちの学習を支援する『子ども日本語学習支援ボランティア養成講座』を開催しました。

講座は杉並区役所等で2022年10月5日から12月14日まで、毎週水曜日、全10回行われました。参加人数は28名、全体の講習計画は、杉並区交流協会評議委員でアクラス日本語教育研究所の嶋田代表理事が立案されました。

取材日の10月19日(水)は「子どもに対する日本語支援とは～文化間移動の中で～」をテーマに、青少年自立援助センター定住外国人支援事業部の田代奈緒子さんを講師に招き開催しました。

講座には、子どもたちが理解しやすい『やさしい日本語』の表現や話し方などが盛り込まれており、子どもたちとの向き合い方、対話を重視した「ともに考える」接し方、現場での臨機応変な対応力等を学びました。さらに、子どもたちに寄り添い、共感することの重要性も学びました。

1月から始まる『子ども日本語教室』では、それぞれ違う文化、環境で育った、区内在住の外国等の子どもたちが日本語を学びます。子ども日本語学習支援ボランティアの方々には、講座で学んだことを活かして、子どもたちの学習を支援します。

参加者からは、「教育は大事です。特に海外の子どもを支援することは大切です。」という声や、「リタイヤ後のやるべきことが見つけた。思ったより楽しい。」との声がありました。(広報・0)



## 杉並区区制施行90周年記念 「交流自治体中学生親善野球大会」



杉並チームのステージパフォーマンス



自己紹介カードの交換



大理中のチーム紹介を担当した呉柏宏さん

## 参加者交流会

2022年10月8日  
於：中野サンプラザ

2011年12月、台北市と杉並区に南相馬市が加わり、3地域の中学生親善野球交流が始まりました。南相馬市が加わったのは、東日本大震災と原発事故の影響下にある南相馬市の中学生にも、思い切り野球を楽しんでほしいという、台北市からの招待によるものでした。この大会は多感な中学生たちが交流することで生まれる「何か」を夢見る、多くの大人たちの熱意に支えられています。

交流夕食会に参加したのは3地域の中学生75名。それぞれが準備してきた「自己紹介カード」(名前・チーム名・ポジション・今、夢なこと・好きな食べ物)の交換から始まり、チーム紹介やステージパフォーマンス、お弁当を食べながらの和やかな懇談が続きました。

日本語で大理中のチーム紹介をしたのは呉柏宏さん(14歳)。小学1～2年は横浜市の小学校に通いました。台湾に帰ったあとも、日本のアニメなどで日本語の勉強を続けています。小学4年から野球を始め、野球の名門大理中に進学しました。「好きな野球で来日できたこと、日本語でチーム紹介ができたことがとても嬉しい」とはにかみながら話してくれました。交流の中から呉さんのような野球少年が育っているようです。(広報T)

## 杉並区区制施行90周年記念事業 すぎなみプレフェスタ

秋晴れの2022年10月16日(日)、「すぎなみプレフェスタ」が下高井戸おおぞら公園と下高井戸区民集会所を会場に開催されました。今年区制90周年という節目の年でもあって、「すぎなみ舞祭」の開催と併せて行われ、芝生広場には、色とりどりのダンスファッションをしたちびっ子やダンサーたちも集まり、華やかな雰囲気がいっぱい、大賑わい。

杉並区交流協会は、「プリンフェア」「ヨーヨー祭り」の2つのブースを出店しました。交流自治体(北海道名寄市・新潟県小千谷市・静岡県南伊豆町・福島県南相馬市・福島県北塩原村・群馬県東吾妻町)から取り寄せた、メロンやさつま芋、しょうゆなどの各地特産品を生かした8種類・100個のプリンは午前中に完売、用意したヨーヨー200個もあっという間になくなりました。(広報・S)



## 海外文化セミナー \*ウクライナ\* in すぎなみフェスタ

2022年11月5・6日、桃井原っぱ公園・桃井第一小学校を会場に「すぎなみフェスタ」が行われ、《お話》《音楽》《食》を通じてウクライナの今に触れる【海外文化セミナー ウクライナ】は、すぎなみフェスタと連携して開催されました。



「ナタリアかあさんのボルシチ」1カップ500円は、連日、10時の販売開始前から行列ができ、11時半には完売御礼!という人気でした。ナタリアさんは、《お話》してくれたイーゴルさんのお母さんで、4月にウクライナから杉並区に避難してきました。そのレシピ・指導で煮込んだ、ウクライナ本場の味は子どもたちにも好評で、「甘い」「野菜たっぷり」と言っていました。



ナタリアさんとイーゴルさん

「お話し」



メインステージでは、5日ウクライナの皆さんによる

「ウクライナ民謡とダンス」、6日ウクライナから杉並区に避難しているラヴロフ・テチアナさんとヤーナさん親子によるチェロの演奏がありました。ウクライナの方々の中には、ウクライナ民謡をいっしょに高らかに歌い、またチェロの演奏を聴いて、母国にいる家族を想い涙する人もいました。そのほかウクライナのアーティスト、アンナ・セニクさんによる写真展示や伝統工芸等の販売もありました。



ウクライナ民謡とダンス



チェロの演奏



伝統工芸品等の販売



写真展示



「ウクライナ人の生の声 母国の過去、現在、未来」をしてくれたのは、母国ウクライナ支援に奔走しているイェプトウシュク・イーゴルさん。キーウの大学で日本語を学び、在学中の2014年に起きたロシア軍のクリミア半島侵入の際は通訳として日本メディアの取材をサポートし、緊迫の現場に同行したそうです。大学卒業後日本に留学。現在はNPO法人 日本ウクライナ友好協会 KRAIANY (クラヤヌィ: 同胞) の理事を務めています。とても日本語が堪能で、深刻な内容でありながら時にユーモアを交え、立て板に水で話されました。

お話は、「きょう、皆さんに覚えていただきたいことが3つあります」から始まりました。「まず『ボルシチはウクライナ料理』です。次に『ありがとうのウクライナ語は“ダーククウ”』です。よく“スパシーバ”と言われるけれど、これはまったく違うロシア語の言葉で、聞くと悲しくなります。3番め

は『平和は努力』です。」  
では、なぜ戦争になったのか? 「ウクライナとロシアは仲が良かったというイメージがあるかもしれないけれど、実は、仲が良くなかったのです。ロシア(ソ連)はウクライナにとって帝国であり、ロシアはずっとウクライナを支配しようとしてきました。」



イェプトウシュク・イーゴルさん

イーゴルさんのお祖父さんは1938年に生まれ、辛いソ連時代を経験しました。お父さんは1989年の独立運動に参加し、お母さんはロシアへの従属から脱する2004年のオレンジ革命に参加しました。そして、徐々に逆行したロシア化に抗する2013-14年のマイダン(尊厳)革命に弟と参加したイーゴルさんは、このとき初めて自由を感じ、ウクライナが変わるかもしれないという期待を抱きました。

2022年1月、ロシアの軍隊が国境付近に集まったときから、ウクライナ人にとっては戦争が始まりました。イーゴルさんは、自分にとってどれだけ家族、親戚、友達が大事なものを改めて思いました。思い出の場所、ウクライナの空気の匂いとかが頭の中によみがえり、自分にとって大事なものになりました。これだけ革命をやってきたのに国が破壊されるのか、という大きな絶望感もわいてきました。そこで思い出したのはマイダン革命のときに感じた、未来のウクライナの味です。イーゴルさんは、自分ができる分野で戦おう、けっして諦めない!と決めました。

ウクライナの未来をイーゴルさんは、こう描いています。「IT大国になる。アウトソーシングの国になる。“形より意味が大事”という新しい思考を世界に提供する国になる。」

イーゴルさんは日本からの支援について、「こんなにも日々、助けてくれるとは思わなかった」と深い感謝を述べ、また、チェコ共和国出身の司会ベトル・ホリーさんに向かって、「ソ連との共通の体験をもつチェコ、ポーランドは大勢の避難民を受け入れてくれるなど、親身になって支援してくれている」と、言葉を詰まらせていたのが印象的でした。

最後に、「日本のテレビは本当ですか?」という小学生の質問に、「自分で調べて、自分で考えることが大事。日本のニュースに嘘はない、しかし、事実の並べ替えによって意味が変わります。」

「テレビで、戦争を早くやめるべきだ」という意見があるが、どう思うか? という学生の質問に、「それは、現状を維持し、力を蓄えてまた攻撃したいというロシアの考えだ。ウクライナ人は領土を取り戻したいのではなく、拷問され殺されている占領された町の人たちを救いたいのだ。」

ロシアの侵略が始まった日の様子、人道支援で創意工夫していることなど、ここに紹介しきれないお話がたくさんあります。臨場感あふれる濃密なセミナーでした。(広報・S)

杉並区及びすぎなみフェスタ実行委員会から、当日の募金額とボルシチの売上げから材料費等を差し引いた額、計423,500円が、NPO日本ウクライナ友好協会 KRAIANY に寄附され、医療物資の購入に充てられました。皆様のご支援に心より感謝いたします。

共催：杉並区 協力：NPO 日本ウクライナ友好協 KRAIANY、日本財団、東京西南ロータリークラブ



ベトル・ホリーさん